

請 願 文 書 表
(令和4年第4回定例会)

請 願 第 1 2 号	令和4年11月4日受理
付 託 委 員 会	福祉常任委員会
件 名	補聴器購入に市の助成を求める請願
紹 介 議 員	植 田 進 議員 三 田 登 議員
請 願 要 旨	<p>加齢性による難聴は、単に「聞こえない」というだけでなく、他者とのコミュニケーションが困難になり、社会からの孤立を招きます。その結果として、認知機能が衰えていくと考えられています。</p> <p>適切な補聴器を使用することは、高齢者の「社会参加」を保障し、「フレイル予防」「介護予防」につながるものです。厚労省の「認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）」でも「難聴は認知症の危険因子」と明記されています。</p> <p>日本では約1,900万人の難聴者がいますが、補聴器を使用している人は18%にすぎません。聴力の低下を自覚していても補聴器をしていない人が35%です。</p> <p>購入費用を助成し、自分に合った補聴器を購入・使用できるようにすることは、高齢者一人ひとりの生活の質を保障するうえでも、認知症予防・介護予防という意味でも非常に重要だと思います。</p> <p>年金者組合大阪本部の調査によれば、10月31日現在、全国で114市区町村になっています。昨年7月時点では35自治体であったことから、1年余りで約3倍という急速な広がりとなっています。特に、新潟県では9割近い26市町村で実施されていることです。</p> <p>千葉県内では、浦安市、船橋市、千葉市、印西市などで実施されています。八千代市でも補聴器購入に市の助成が実現できるよう市議会からのバックアップをよろしくお願いいたします。</p> <p>【請願要旨】</p> <p>加齢性難聴者の補聴器購入に市の助成が受けられるようにしてください。</p>